

校長室より

第148号

「天空高き」



令和3年8月27日

## 2学期に向けて—自分にできることを全力で—

今年の夏は厳しい暑さと例年になく長雨でした。

全国大会に、男子バスケットボール部、女子ハンドボール部、空手道部、柔道部、陸上部、水泳部、放送部が出場しました。

7月の壮行会では、各部の目標や志を掲げ皆さんは全国大会に臨みました。

高い目標や志を掲げ、それに向かってチームが一丸となって全国の舞台でチャレンジできることは、とても素晴らしいことです。

皆さんにとって、それぞれの目標や志が達成できなくても全国の舞台でチャレンジできたことは、これからの大きな貴重な財産になります。

全国大会に出場できなかった人達も、仲間が全国大会に出場できたことは大きな誇りであり励みになります。



本校の創立の精神は、「徳性の陶冶」です。皆さんが授業や学級活動、学校行事や部活動を通して、人格を磨き高めることです。壮行会でも、各部の代表者がコロナ禍で出場できることの喜びと感謝の言葉を述べていました。本校の創立の精神が、部活動を通して脈々と受け継がれていることに対して大変うれしく思いました。

2学期は運動会や楽学祭などの学校行事があります。3年生の皆さんにとっては、進学や就職に向けての大事な学期です。

誰もが不安に思ったり悩んだり苦しんだりすることがあると思います。しかし、皆さんの周りには仲間が先生方や家族がいます。そんな時はあなたを支えてくれる人たちに悩みを打ち明けてください。同じように悩んだり苦しんだりしているのが、決して自分だけではないことに気付くことでしょう。

皆さん一人ひとりが、それぞれの目標や志を達成するために、自分がすべきこと、自分ができることを前向きに一所懸命に取り組みましょう。大切なことは前を向いて

一歩一歩前進することです。

新型コロナウイルスの変異株が急速に全国に拡大しています。皆さん一人ひとりの高い自覚と責任ある行動で、2学期を乗り越えていきましょう。

## 2 学期に向けてその 2—生きていく力、6つの力を高める—

8月3日に第3回教員研修を行いました。

講師は、岩国短期大学講師の竹内吉和先生です。内容は、「生徒の困り感に対する教員理解や対処法等」でした。

その研修の中で、皆さんが学習していく上で必要な力が6つあります。

聞く力、話す力、読む力、書く力、計算する力、推論する力です。

学校では、皆さんがこの6つの力を授業を通して、学級活動や学校行事で、そして部活動等を通して身に付けていく必要があります。私達教師は、その力を身に付けさせていくためにどのようなサポートをして行けばいいのかを研修しました。



1学期の終業式の時に、高校3年生の皆さんには、第一志望の進学先や就職先に求められている学力を身に付けるために、自分には何ができて何ができないのか、何が足りないのか。そのギャップ、溝を埋めるのが、この夏休みの期間だと話しました。

3年生の皆さん、ギャップを埋めることができましたか。

この夏休み何ができて何ができなかったのか。2学期以降は、自分が足りないところをどのようにして埋めていくのか。そこを自分自身で見通すことができれば、後は学習時間を確保するだけです。学力は、集中してどれだけ努力したか。すなわち、学力=集中力×時間で示すことができます。

I can do it. 自分を信じて、最後まで粘り強く努力してください。毎日の小さな努力を積み重ねていけば、きっとゴールが見えてきます。

## 災害に備える—台風シーズンを迎えて—

7月には静岡県熱海市で土石流が発生しました。8月のお盆中には、活発な前線の影響で九州や中国・四国地方で大雨警報が発令されました。9月になれば台風シーズンを迎えます。現在私たちは年中災害に備えておかなければなりません。私たちが災害による被害をできるだけ少なくするためには、一人一人が自ら取り組む「自助」、近所や地域の方々と助け合う「共助」が大切です。特に、近所に高齢者の方などがおられる場合には日頃から声をかけ、気に留めておいてください。

家庭においては、避難場所・避難経路・避難方法などについて家族で確認し



ておくことです。また、災害が起きた場合、電話・携帯電話が使えないことを想定して家族や知人と連絡を取り合う手段を事前に決めておくことも大事です。

「備えあれば憂いなし」です。しっかり想像力を働かせて早目の準備・行動をお願いします。



## TOKYO2020 —「日本の13歳、真夏の冒険！」—

コロナ禍の中で心配されましたが、東京オリンピックが無観客で開幕し、無事閉幕しました。

日本選手の活躍は素晴らしかったですね。その中で10代をはじめとする若手選手の活躍は素晴らしいを飛び越えて、驚きでした。

スケートボードで金メダルに輝いた西矢選手はスケート歴は7年、まだあどけなさが残っている中学2年生です。

13歳での五輪金メダルは、日本人選手として最年少という快挙となりました。

試合前の彼女のコメントでは、「みんなが歓声を上げてくれるから楽しいので、笑顔で滑ろうと考えていた」そうです。まさに無欲でつかんだ勝利でした。

私には彼女が純粋にスケートボードを楽しむ姿がとても印象的でした。

8月24日(火)には東京2020パラリンピックが開幕しました。オリンピックとは異なる新鮮な驚きと感動を、再び私達にもたらしてくれることでしょう。



## コーヒーフレイカー円周率を62兆8000億桁まで

スイスの研究チームが、スーパーコンピューター1台を使って円周率を62兆8000億桁まで計算し世界記録を更新した、というニュースがありました。計算には108日9時間かかったそうです。

研究チームは、ギネス世界記録の認定を待っており、認定されるまでは最後の10桁が「7817924264」とだけ明らかにしています。これまでの「最も正確な円周率の値」は、50兆桁だったそうです。ちょっと気の遠くなるような桁ですね。

研究者は従来より高性能なコンピューターを使ってさらに計算を進めているようですが、円周率を62兆8000億桁まで計算することにどんな意義、価値があるのです

3.14159	26535	89793	23846
26433	83279	50288	41971
69399	37510	58209	74944
59230	78164	06286	20899
86280	34825	34211	70679
(円周率 100 桁まで)			
※オイラー(スイス)が円周率記号 $\pi$ とすることを広めました			

ようか。

専門家によると円周率の計算で培った経験は、「RNA 解析や流体力学のシミュレーション、テキスト解析」などの他の分野にも応用できるそうです。ちょっと難解すぎて私にはよくわかりません。「この世の中に無用なものはない。一見役に立たないように思うものにも、とても大切な役割がある」と言われています。反対に、「すぐ役に立つものはすぐに役に立たなくなる」とも言われます。一所懸命に何かに打ち込める、ということはとても素晴らしいことです。

## 8月の月間目標

### 規律正しい生活

令和3年度  
チャレンジ目標

- 1 明るい挨拶
- 2 5分前行動
- 3 交通ルールを守る
- 4 1%を誰かのために

暑いこの時期に大切なこと。

朝早く起きて、しっかりとごはんを食べ、元気に一日を過ごして、夜は早く寝る。

皆さんが、子どものときに身につけた生活習慣を継続することです。

特に、「朝ごはん」は私たちのからだと脳を目覚めさせ、これから始まる1日の活動に欠かせない食事です。毎日「朝ごはん」を食べる子どもほど、「全国学力・学習状況調査の平均正答率」や「持久力」が高い傾向にあり、生活リズムの定着が学力・体力の向上につながっています。

しかし、中・高校生の年代になると、朝寝坊をしまい朝ご飯を食べないで登校している生徒がいます。「食べる」ということは、いのちを育む基本的な行為です。健康のためにも「早寝、早起朝ご飯」を心掛けましょう。

#### 二十四節気

##### 『立秋（りっしゅう）』8月7日

朝夕が涼しくなり、秋の気配が立つころ。立春からちょうど半年が経過し、この日から立冬の前日までが秋。暦の上では秋になりますが、日中はまだ残暑が厳しく1年で最も気温が高くなる時期です。この頃は、月遅れのお盆を前に各地で夏祭りが開催されます。まだまだ夏のレジャーを楽しむ頃ですが、よく観察してみると秋の気配を感じることができます。夏の風と秋の涼やかな風が混在し始めます。空を見上げると、巻雲（けんうん）など秋の雲も見えますよ。この日から、残暑見舞いになります。

##### 『処暑（しょしょ）』8月23日

暑さが和らぐという意味。萩の花が咲き、穀物が実り始める頃。厳しい暑さの峠を越し、朝夕は涼風が吹き始め、山間部では早朝に白い霧が降り始め秋の気配を感じます。この頃は台風のシーズンでもあり、二百十日、二百二十日とともに台風襲来の特異日です。夏バテや食中毒にかかりやすい時期でもありますので、まだまだ注意が必要です。夏の家具や雑貨を片づけ、秋の準備を始める目安にしましょう。台風への備えもお忘れなく。

日本の行事・暦